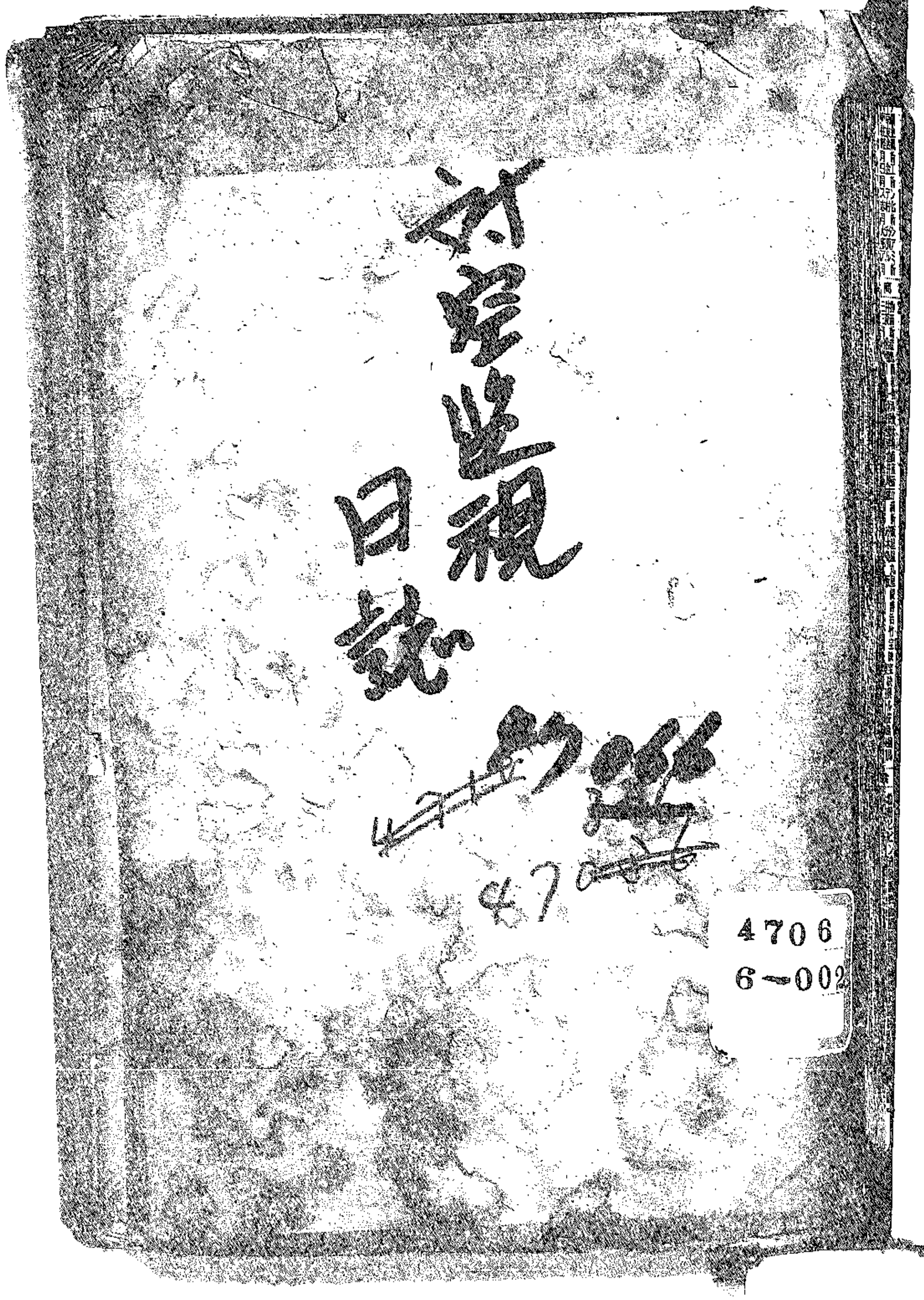

昭和33年4月米政府返還旧日本軍記録文書等史料経歴票

防衛庁防衛研修所戦史室

表題	
整理番号	
作成の部隊庁・個人名等	
作成年月日	明治 大正 昭和 年 月 日作成 自 至 年 年 月 月 日 日 の間に作成
史料の内容	
備考（本史料に関する参考事項を記す）	
史料の入手経路	本史料は大東亜戦争中米軍が直接戦場で捕獲し、又は内地進駐後、陸海軍諸機関から押収した記録文書の一部であって、長くワシントン郊外フランコニヤ等の記録保管所に保管されていたが、米国務省に対する日本政府の返還要求に応じ昭和33年3月日本側に引渡され、同年4月横浜着、同月10日指定保管責任庁たる防衛研修所戦史室の手に帰したものである。
責任者職・氏名	防衛庁防衛研修所戦史室長 防衛庁事務官 西浦 進

昭和33年5月調製

記事	敵状
今夕ヨリ明朝ニ至ル一〇〜一五米ノ季節風来襲見込ミ 戒ヲ要ス 先般ノ斥候モアルヲ以テ萬全ノ措置ヲ各隊ニ通報 [illegible] 風速一二〜一三米ナルヲ以テ各隊空中[illegible] 之ス。	比島方面依然激戦継続中 勇戦 飛行場使用ヲ拘束シ[illegible] 南支方面戦果拡大 貴州省境ヲ突破[illegible]

昭和33年4月米政府返還旧日本[illegible]

表題	
整理番号	
作成の部隊	
作成年月日	明治 大正 昭和 年 月 日
史料の内容	
備考	
史料の経路	本史料は[illegible]
	西浦 進

十二月 二日 土曜 天候 曇

敵状	記事
十一月二十六日 薫空挺隊ドラッグ及ブラウエン飛行場ニ強行着陸 決死ノ突入ヲナシ多大ノ戦果ヲ挙グ	午前三時 最大風速 二〇・三米 四時 〃 〃 一八・五米 五時 〃 〃 一五・五米 昼間ハ最モ風速強烈 十米ヲ突破 山上ハ十五米程度アリ 空中線ヲ上グル能ハズ 終日射撃ヲ中止ス

十二月 三日 日曜	天候	曇	記録者	ノ職 少尉

敵状

本日一四〇〇ヨリ一五三〇ノ間B29七十数機十機編隊ナリマリアナ方面ヨリ帝都周辺ニ来襲　撃墜十五機以上
我艦上部隊水上部隊ハカモテス海ニ於テ敵水上部隊ト交戦　D一 下B七 T一轟沈　我方 D一沈没

記事

球部情電 二七七号
A情報ニ依レバB29百二十四機　二日十二時迄ニ九十四機ノ支那成都周辺ニ集結中ニシテ成都金局地ニ三日零時ヨリ X時迄ノ警戒要求シアリ。当要ハ鼻大ナリ。
本日依然終日風速大ニシテ十米ヲ突破ス

十二月四日 月曜 天候 曇後晴 [illegible] 入江少尉

敵状	記事
特記事項ナシ	本日風漸ク治マリ各隊警戒ヲ開始ス 昨三日ノ本宮空襲ノ墜落機ハ總計二十一機ナリ 我方自 爆及未帰還 一又機

十二月五日 火曜 天候 晴 記録将校 入江少尉

敵状	記事
球警電二七八号ノ如シ。 南大寺附近ニ敵偵察ニ来タルモノノ如シ 是ニ依リ本島沿岸 ト併セ警戒ヲ要ス	球警電 二七八号 台軍情報ニ依レハ五日遂川ノ芷江、贛州等ニ到着セル戦爆 多数アリ 尚遂川ヨリ芷江宛 至急指令セリ 明朝晩以降 主トシテ台湾 本島方面出撃ノ算大ナリ 十二時頃軍情報ニ依レバ球第船ノ情報ニヨレハ南大寺西方三〇海里 曙ニ於テ不明機発見セリ(三一〇四) 高度ハ[illegible] 同時頃(〇四三) 南大寺警戒艇ハ南下セル不明機ヲ[illegible] 十二時当方南大寺警戒ノ陣地ヨリ四番機ノ一部ヲ南方ニ向ケ[illegible] [illegible]

一 十三時半頃南大東島ハ未ダ通信不明ナルモ[illegible]
十三時ニ到リ天候悪化ナシ
十四時三〇分　十三時三〇分敵艦宮古島東方二七〇粁 針路不明 十五時
共ニ中ノ情報アリ 十五時迄各隊ニ通報シ 八〇粁ヨリ三〇〇粁ノ間
索敵一ヲ成スモ異状ヲ認メズ

十二月六日 木曜 天候 雨風強し [illegible] 入江少尉

敵状	記事
支那方面ヨリノ敵情異状なし	終日雨天 午后ヨリ風次第ニ強ク夜ニ入リ明朝ニ至リ 二十米位ノ波 風吹ク見込 十四時三十分 島村隊宮古飛行場[illegible]着ス

二月五日 明 二一五八～二二四五 四七分間

送信機故障

二月六日 明 〇七四五～〇九四五 二時間

送信機[illegible]

暁 一四四五

空中線並ニ樹木部折損（約一日）

十二月七日 木曜	天候	雨天風強	[illegible] 入ル[illegible]

敵状
比島方面依然激戦継続中ニシテ敵ハ各飛行場ニ空挺部隊降下ス
仏印方面ヨリ南寧ニ向ヒ攻勢ヲ準備
東京ニＢ２９ 二三機来襲 本夕大連又敵機ヲ発見ス 撃墜一機

記事
南西諸島一帯暴天ニシテ強風ノ為各隊作業ヲ中止シアリ
宮古島作業ノ如キ時間ハ豊部隊ノ通信上
十一時十分～十五時 十五時～十七時トス

十二月 八日 金曜	天候 曇風雨

敵状

七日十八時五十分 北緯二一度五十分 東経一三一度三〇分ニ敵機動部隊[illegible]モノノ如シ
十三時四十分 小笠原父島 C・4・D・7 ノ艦砲射撃ヲ受ク

記事

一、三時三十分 南西諸島全般ニ対シ 西號警戒[illegible]下令セラル
警戒[illegible]令ヲ達シ 厳重ノ警戒 警戒ヲ厳ナラシム
強風中ナルモ各隊ノ警戒ヲ厳ナラシム 十一時四十分南大東上空艦[illegible]
進中ノ不明機アルモ十三時異状ナシ
十五時頃ヨリ風速十五米ニ達セルヲ以ッテ 低気圧ノ中心方向ニ対シ
シ固定警戒入。

十二月八日 〇五 一〇四〇～一三一九 発信者不良ノ為 一時間三十九分

十二 九 土 [illegible] 臺季節風 [illegible] 江少尉

況	状	氣
著変ヲ認メズ		

依然平均風速十四米内外 最高十五米ヲ突破セシ見込

海軍情報

海軍哨戒機四機ヲ以テ〇九〇〇ニ発那覇基点一七〇度～二五〇度ノ間一二〇浬 四機ヲ以テ単機毎ニ右支那海方面約二二〇浬ヲ哨戒セシモ異状ヲ認メズ

本島内ニアル飛行隊ノ哨戒機ノ通報ニ依レバ本島東方約□浬附近哨戒ノ飛行機ヲ不明機ト認メ発見セリ

十二月九日　02/2

二〇〇〇～一三三〇

バッテリ不調ノ為ニ発電出来ズ

十二月十日日曜	天候	晴	勤務将校	入江少尉

敵状

関東地方 信越地区警戒警報発令 二〇時〇五分ダハ

記事

早朝凪治マリ各隊旧姿勢ニ服シ警戒ヲ厳ニス 中川小隊暴材調整ヲ概ネ終了シ調整ヲ兼ネ警戒ヲ実施ス

一、球巻情ニ八一號
十二月八日〇八〇五東経一三三度北緯二七度附近ニモ敵機動部隊アリシモノノ如シ

二、右機動部隊ニ関シテハ新報ヲ得ザルモ尚警戒ヲ要スルモノト判断セラル。

十二月十一日 月曜	天候 晴	記事者 八紘 少尉

敵状

敵B29連日帝都ニ対シ神経爆撃ヲ開始シアル模様

記事

一〇三三 国頭上空高度五〇〇〇米 四機ノ不明機一機アリ
其他変化ナキヲ以テ 誤情報ト判断ス

一三三〇 参謀会
一、台湾軍情報ニヨレハ明十二月十二日前後在支米空軍台湾空襲ノ決行ヲ企図シアリ

十二月十二日 火曜	天候 雨	勤務将校 入江少尉

敵状

マリヤナ基地ノB29小数機ハ数次ニ亘リ関東地方ニ十二日深更来襲セリ。

南支及佛印方面我軍ハ南寧南方七十粁ニ於テ連絡ヲ完了シ支那大陸ノ打通ニ成功セリ。

記事

強風ノ為各隊連絡悪シ。又各隊共警戒ヲ中止シアリ。

十二月十三日 水曜 | 天候 雨 曇天 | 勤務將校 入江少尉

敵状

其後南西諸島方面異状ヲ認メズ

本日午后マリヤナ方面ヨリB29八十機内外帝都附近静岡、愛知四国ニ来襲セリ。愛知、静岡ニ於テ地上ニ若干損害ヲ与ヘラレタルモ其他ニ被害ナシ

記事

參情二九二

一、丙號戰備下令解除 一〇五〇 南西諸島全地区

二、球一六一六部隊長

三、敵機動部隊攻撃の算ナキニヨル

十二月十四日 木曜 天候 晴 [illegible] 入[illegible]

病状	記事

十二月十五日	金曜	天候 雨	敵情判断 入港

戦況

本日朝来有力ナル敵ハスル海ヲ北上ミンドロ島南部サンホセ附近ニ約一Dノ兵力ヲ上陸開始セリ

記事

膽参情電第三八号

一、父島ニ於テハ十五日夜六機ヲ以テ五回ニ亘リ執拗ニ来襲反覆侵入 此ノ間敵機ハ三、四粁迄超低空ヲ以テ近接急上昇爆撃 而モ超低空ナリ 電波探知機ニ感知セシメザリシハ注意ヲ要ス

二、来襲時刻方向其他不明ナリ

十二月十六日 土曜 天候 曇雨 勤務摘要 ア五分ノ[illegible]

戦状	記事
レイテ、ミンドロ激戦中	終日強キ突風ノ為警戒不能

十二月十七日　曜日

天候　晴

勤務将校　入江　[illegible]

概況	記事
	特記事項ナシ。

十二月十八日　晴

マリヤナ方面ヨリB29約七〇機名古屋ノ一部ハ阪神ヲ攻撃セリ
我方ノ損害軽微ナリ

特記事項ナシ。

十二月十九日 火曜 天候 曇、雨 [illegible]

敵状

B29約三四十機本十九日午前 西九州主トシテ大村附近ニ来襲セリ。

記事

一、佐世保海軍鎮守府九州南西海面空襲警報発令 〇九四〇
二、佐世保鎮守府司令長官
三、本朝〇四三〇頃 B29 成都出発満州方面ニ向ヒツツアルモノノ如シ
一一三〇分 九州南西海岸方面空襲警報解除
其他特記事ナシ。
夕刻ヨリ強風ノ為メ隣組一斉訓練中止ス

十二月二十日 水曜 天候 曇雨 [illegible]

敵情
変化ナシ。

一、A情報ニヨレバ或船ハ今夜二十日不明時頃不明時ノ間ノ誘導電波送信ヲ要求シアリ、早朝B時某空ニ達シ各方面警戒ヲ要ス

一、本二〇日一八〇〇 鳥村隊空中線前柱修理完了

十二月二十一日 木曜 天候 曇 [illegible]

敵状	記事
三時四十五分 敵機二機(推定)浜名湖西方海上ヨリ北進 三時四十六分 中部軍管区 地区ヲハ、四時十三分 名古屋侵入	一、第五航空軍 二二一五受、成都ハ全面ニ対シ明二十一日 二時三〇分ヨリ 一九時ノ間、誘導電波ヲ要求シアリ 二、芷江 本日午後遂川、南雄、贛州ノ気象要求、成都ヨリノ明二十一日誘導電波要求等ニ鑑ミ警戒ヲ要ス 三、一八五〇 台湾軍管区警戒警報発令 マニラ東方洋上ノ敵部隊ノ動行ニ鑑ミ本夜以降台湾方面ハ特ニ警戒ノ要アルニヨル

十二月二十三日　土曜　天候　雨　勤務将校　入江少尉

敵状	記事
本二十三日午后B29二機、名古屋及阪神地方ニ侵入スルモ投弾ナシ	一、十二月二十五日左ノ通リサイレン吹鳴試験 一一〇〇　ケハ 一二〇〇　クハ 一三〇〇　クカ 当日警報発令ノ場合ハ取止メ

十二月二十四日 日曜 天候 晴 勤務将校 入江少尉

敵状

敵機動部隊ハ南方洋上西進中ナルモノノ如シ
マリヤナ方面ヨリ今暁三四〇頃B29各一機帝都周辺ニ侵入ス。

記事

十二月二十三日一二三〇 丙號戦備下令
一、南西諸島全地区
二、球一六一六部隊長
三、一四二〇 那覇基点一五〇度二七五浬 味方潜水艇 敵機動部隊ラシキモノ捕捉シ 一四四〇 西方ニ移動中

〇六〇〇 異状ナシ 敵機動部隊推定方向 一九〇度方向〜二三〇度

一四五〇 一、丙號戦備下令解除
三、敵機動部隊未発見ナルモ算少ナキヲ以テ全般ノ情報上
警戒ヲ要ス

台湾〇八五〇クハ、一〇五〇クウノ敵ハ之不明

十二月二十五日 月曜 天候 晴 勤務将校 入江少尉

隊状	記事
	特記事項なし

十二月二十六日 火曜 天候 雨 勤務時数 八 [illegible]

状況	記事
	特記事項なし

十二月二十七日 水曜 天候 晴 勤務将校 入江少尉

記事

成都ハ全局ニ対シ廿八日〇四〇〇ヨリ一九〇〇ノ間誘導電波ヲ要求シアリ

十二月二十八日 水曜 天候 晴 記載者 入江少尉

狀況	記事
	一、二三〇八、讀谷乙ハ三一〇度一四〇粁ニ不明機ヲ捕捉追及ス 反射大 敵ノ疑ヒ濃厚ナリ 二三二五 本部、二三三〇 口頭各監視哨ハ西方ニ爆音ヲ聞ク

十二月二十九日 金曜 天候 曇 入港ス

敵状	記事
	〇〇一三 流谷乙ハ西ヒ東方ニ南下スル不明機ヲ捕捉ス、該機ハ 〇〇二二 東南方ニ脱去ス 一、台湾軍情報ニ依レハ本二十九日〇八〇〇北緯十八度三〇分東経一三〇度 十五分ニ敵機動部隊ヲ測定セリ 一、球参信電 三〇五號 一、丙號戦備下令 二三〇〇 二、球一六一六部隊長 三、敵機動部隊ノ近接ノ兆アルニヨル

十二月三十日 土曜 天候 晴 [illegible] 大[illegible]

敵状	記事
	丙號戦備下令中 特記事項ナシ

十二月三十一日 日曜 天候 晴 記入 少尉

情報

〇八〇〇 小禄上空南方ヨリＢ二九一機 高度九三〇〇ヲ以テ進入
〇八一〇 高射砲射撃開始
〇八二〇 東南方ニ脱去ス

一、空襲警報発令 〇八一〇 沖縄本島地区 二、球一六一六部隊長
三、Ｂ二九来襲セルニヨル

敵機Ｂ二九一機 〇八〇〇沖縄本島ニ南方ヨリ進入 小禄飛行場附近旋回
〇八三〇 東南方ニ脱去ス ヨリヤヤ方面ヘノ偵察行動ト判断セラル

記事

一、空襲警報解除 〇八四五 沖縄本島地区 二、球一六一六部隊長
三、敵機東南方ニ脱去セルニヨル。

一月	一日	月曜	天候	晴	勤務将校	入江少尉

敵状	記事
	午前九時四十五分頃南よりB二九一機沖縄本島に来襲ス
	〇九一三 空襲警報発令　一沖縄本島地区　一球一六一六部隊長
	〇九一〇 敵B二九一機糸満上空南方より北方に通行中
	〇九一三 中飛行場上空にあり
	〇九二四 糸満上空 移動せし
	一〇九　一〇三〇 沖縄本島地区　球一六一六部隊長
	三敵機沖縄本島南方ニ脱去せしこと
	三敵B二九一機 〇九〇〇沖縄本島南方より進入 島尻郡上空より偵察後
	糸満東方に脱去せり　高度約一万　損害なし

十二時三〇分 具志頭上空 B二九 二機 北西より航過 三五〇粁
石垣方面に向ふ

一月二日 火曜 天候 勤務將校 [illegible]少尉

敵状	記事

一月三日　曜　天候

敵状	記事
	一〇七三〇　台南発進　ク八　〇七三五　台湾[illegible]発進　ク八
	〇七三八　台湾(各基地)　ク八
	〇九〇〇　B二九北方ヨリ進入　那覇上空旋回
	〇九三二　空襲警報発令
	〇九三〇　グラマン四機　北飛行場攻撃中
	〇九二四　小禄飛行場　グラマン攻撃中
	〇九三六　二〇〇[illegible]方向[illegible]進入中
	〇九四〇　読谷飛行場　攻撃中
	〇九五八　二〇〇[illegible]方向ヨリ　本部半島[illegible]進行中

一二〇五 クカ 南西諸島全地区 第三十二軍司令官
三、敵機来襲ハ以後攻撃ノ算少キニ至ル
四、本島地区被害ナシ 戦果 撃墜 二 撃破 二 機

球参情

一、敵機動部隊ノ測定ノ位置ハ三日〇三五〇 北緯 二一度 東経
一二三度三〇分ニシテ別動部隊ト判断セラルルモノノ 三日三時〇五分
北緯一二度 三〇分 東経一二四度四〇分ノ附近ニアリ レイテ方面増援
部隊到着ノ現況ニモ鑑ミ比島方面敵動静企図ニ関シ厳戒ヲ
要スベシ

一月 四日 木曜 天候 勤務将校 入江少尉

敵状	記事
	一〇七五〇、台湾東地区 クハ
	〇八三〇、南大東 三〇〇度方向ニ彼我不明編隊沖縄方面ニ近接中
	〇九三〇、読谷ヨリ一四〇度 六〇粁ニ不明機ヲ捕捉
	〇九五五、クハ 沖縄本島地区 一六一六 入江隊長
	伊頭上空 敵十四機発見ヲ知ルニ至ル
	一〇〇五、読谷上空ヨリ双発機進入那覇方面ニ進行中
	一〇二八、首里北東 九〇度 七〇粁附近 西南進行中